

世田谷区中期財政見通し

令和3年度～令和7年度

《 令和3年度当初予算案による見通し 》

昨年9月に公表した今後5か年の中期財政見通しについて、令和3年度当初予算案を踏まえ、今後の区の財政見通しの修正を行った。

歳出については、本庁舎等整備経費をはじめ、「世田谷区公共施設等総合管理計画の一部改訂（素案）」を踏まえたその他の公共施設整備経費、保育施設整備経費や保育運営経費、今後の施設整備計画等の状況を踏まえた社会保障関連経費（扶助費・繰出金）などの一定の増減を見込んだ。なお、令和4年度以降は財政調整基金の繰入れを行わない見通しとした。

この中期財政見通しを元に複数年を見据えた計画的な財政運営に努めるとともに、今後の新型コロナウイルス感染症の状況や地域経済の動向など、区財政への影響を見極めながら、必要に応じて財政見通しの修正を行うなど、引き続き持続可能な財政運営に取り組んでいく。

計数整理中

令和3年2月
世田谷区

世田谷区中期財政見通し（令和3～令和7年度）

※令和3年1月時点

（単位：百万円）

区分	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			
	予算額	増減額	増減率	予算額	増減額	増減率	予算額	増減額	増減率	予算額	増減額	増減率	予算額	増減額	増減率	
歳入	特別区税	117,907	△ 7,555	△6.0%	114,407	△ 3,500	△3.0%	115,607	1,200	1.0%	117,307	1,700	1.5%	119,607	2,300	2.0%
	地方消費税交付金	19,913	△ 146	△0.7%	19,913	0	0.0%	19,913	0	0.0%	19,913	0	0.0%	19,913	0	0.0%
	特別区交付金	48,280	△ 5,214	△9.7%	48,380	100	0.2%	49,680	1,300	2.7%	47,980	△ 1,700	△3.4%	49,280	1,300	2.7%
	国庫・都支出金	83,530	△ 1,571	△1.8%	86,224	2,694	3.2%	85,845	△ 379	△0.4%	85,524	△ 321	△0.4%	86,372	848	1.0%
	繰入金	11,004	3,614	48.9%	10,783	△ 221	△2.0%	16,783	6,000	55.6%	6,583	△ 10,200	△60.8%	12,783	6,200	94.2%
	特別区債	11,513	1,173	11.3%	19,630	8,117	70.5%	25,077	5,447	27.7%	16,792	△ 8,285	△33.0%	24,856	8,064	48.0%
	その他	27,843	1,953	7.5%	25,708	△ 2,135	△7.7%	26,439	731	2.8%	26,386	△ 53	△0.2%	26,382	△ 4	△0.0%
	歳入合計 (A)	319,989	△ 7,745	△2.4%	325,044	5,055	1.6%	339,343	14,299	4.4%	320,484	△ 18,859	△5.6%	339,192	18,708	5.8%
歳出	人件費	59,819	△ 241	△0.4%	59,366	△ 453	△0.8%	59,962	596	1.0%	60,476	514	0.9%	60,429	△ 47	△0.1%
	行政運営費	230,676	5,330	2.4%	232,016	1,340	0.6%	235,133	3,117	1.3%	235,016	△ 117	△0.0%	240,268	5,252	2.2%
	扶助費	98,795	1,572	1.6%	100,861	2,066	2.1%	103,903	3,042	3.0%	104,485	582	0.6%	105,572	1,087	1.0%
	公債費	12,169	6,771	125.4%	11,196	△ 973	△8.0%	10,705	△ 491	△4.4%	9,521	△ 1,184	△11.1%	12,470	2,949	31.0%
	他会計繰出金	26,229	△ 1,076	△3.9%	26,779	550	2.1%	27,329	550	2.1%	27,979	650	2.4%	28,629	650	2.3%
	その他行政運営費	93,483	△ 1,937	△2.0%	93,180	△ 303	△0.3%	93,196	16	0.0%	93,031	△ 165	△0.2%	93,597	566	0.6%
	投資的経費	29,494	△ 12,835	△30.3%	33,662	4,168	14.1%	44,248	10,586	31.4%	24,992	△ 19,256	△43.5%	38,495	13,503	54.0%
歳出合計 (B)	319,989	△ 7,745	△2.4%	325,044	5,055	1.6%	339,343	14,299	4.4%	320,484	△ 18,859	△5.6%	339,192	18,708	5.8%	
財政収支 C (A-B)	0			0			0			0			0			

世田谷区中期財政見通し（令和2～令和6年度）

※令和2年8月時点

（単位：百万円）

区分	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	予算額	増減額	増減率	予算額	増減額	増減率	予算額	増減額	増減率	予算額	増減額	増減率	
歳入	特別区税	109,502	△ 15,960	△12.7%	105,842	△ 3,660	△3.3%	108,682	2,840	2.7%	113,422	4,740	4.4%
	地方消費税交付金	17,607	△ 2,452	△12.2%	18,057	450	2.6%	19,057	1,000	5.5%	19,057	0	0.0%
	特別区交付金	40,894	△ 12,600	△23.6%	45,494	4,600	11.2%	49,494	4,000	8.8%	47,794	△ 1,700	△3.4%
	国庫・都支出金	85,309	209	0.2%	86,226	917	1.1%	88,062	1,836	2.1%	88,983	921	1.0%
	繰入金	15,900	8,511	115.2%	10,900	△ 5,000	△31.4%	13,700	2,800	25.7%	6,700	△ 7,000	△51.1%
	特別区債	21,283	10,943	105.8%	14,530	△ 6,753	△31.7%	19,877	5,347	36.8%	9,942	△ 9,935	△50.0%
	その他	25,036	△ 854	△3.3%	25,293	257	1.0%	25,541	248	1.0%	25,617	76	0.3%
	歳入合計 (A)	315,531	△ 12,203	△3.7%	306,342	△ 9,189	△2.9%	324,413	18,071	5.9%	311,515	△ 12,898	△4.0%
歳出	人件費	59,296	△ 764	△1.3%	58,524	△ 772	△1.3%	59,408	884	1.5%	59,962	554	0.9%
	行政運営費	230,923	5,577	2.5%	235,589	4,666	2.0%	238,585	2,996	1.3%	240,528	1,943	0.8%
	扶助費	100,458	3,235	3.3%	103,748	3,290	3.3%	106,605	2,857	2.8%	109,133	2,528	2.4%
	公債費	12,117	6,719	124.5%	11,207	△ 910	△7.5%	10,712	△ 495	△4.4%	9,460	△ 1,252	△11.7%
	他会計繰出金	27,854	550	2.0%	28,404	550	2.0%	28,954	550	1.9%	29,604	650	2.2%
	その他行政運営費	90,494	△ 4,927	△5.2%	92,230	1,736	1.9%	92,314	84	0.1%	92,331	17	0.0%
	投資的経費	25,311	△ 17,017	△40.2%	12,228	△ 13,083	△51.7%	26,419	14,191	116.1%	11,024	△ 15,395	△58.3%
	歳出合計 (B)	315,531	△ 12,203	△3.7%	306,342	△ 9,189	△2.9%	324,413	18,071	5.9%	311,515	△ 12,898	△4.0%
財政収支 (A-B)	0			0			0			0			

<主な歳入の見通し>

(1) 特別区税

- ・令和4年度にかけて減収を見込み、その後は一定の回復を想定しつつも、コロナ以前の水準への回復は見込めないことを前提とした。
- ・今後の人口の動向が不透明なため、納税者数の増減は見込んでいない。
- ・ふるさと納税の影響について、令和2年度の56億円の影響額を、令和3年度以降も同額の影響額を見込む。

(2) 特別区交付金

- ・税制改正による地方法人課税の見直しの影響を令和5年度にかけて見込んだ。
- ・本庁舎等整備にかかる特別交付金の増を見込んだ。

(3) 財政調整基金の繰入れ

令和4年度以降は財政調整基金の繰入れを行わない見通しとした。

(4) 特定目的基金の繰入れ

本庁舎等整備をはじめ、「世田谷区公共施設等総合管理計画の一部改訂（素案）」との整合を図りながら、公共施設や都市基盤整備などに計画的な活用を見込んだ。

(5) 特別区債

本庁舎等整備をはじめ、「世田谷区公共施設等総合管理計画の一部改訂（素案）」との整合を図りながら、公共施設や都市基盤整備などに計画的な活用を見込んだ。また、満期一括償還時の借換債を見込んだ。

<主な歳出の見通し>

(1) 決算繰越金の活用による対応

投資的経費において、前年度の決算繰越金の一部を活用した補正予算による対応も含めた財政見通しとした。

(2) 本庁舎等整備経費

本庁舎等整備について、現時点における経費見込みを反映した。なお、基金と特別区債の計画的な活用により、一般財源の負担を最小限とする見込みとした。

(3) その他公共施設整備等

都市基盤施設や老朽化した公共施設の改築・改修について、「世田谷区公共施設等総合管理計画の一部改訂（素案）」との整合を図りながら、現時点における当面の整備経費を見込んだ。

(4) 人件費

今後の定年退職者数・新規採用者数の見通し等を踏まえ、令和3年度は一定の職員数の増を見込みつつも、令和4年度以降は職員数の増減は見込まず、退職手当の増減について反映を行った。

(5) 保育施設整備及び保育運営経費

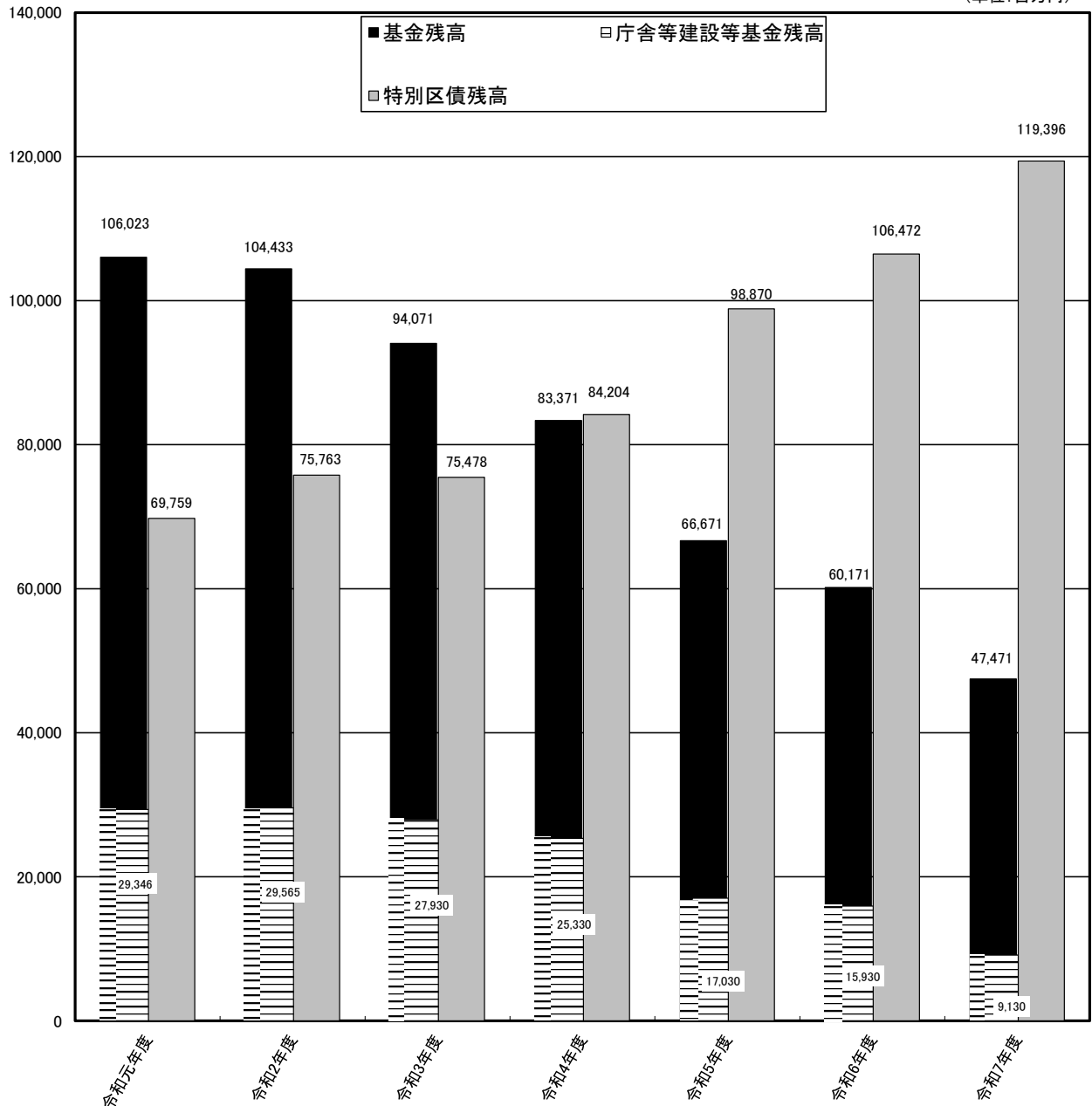
当面の整備計画等に基づく予定経費及び保育運営経費を見込んだ。

(6) 社会保障関連経費（扶助費・繰出金）

生活保護費等の一定の扶助費の増を見込むとともに、現行制度を前提にこれまでの実績や、今後の施設整備計画等の状況を踏まえた特別会計への繰出金の一定の増を見込んだ。

<参考> 特別区債と基金の年度末残高見込み

(単位:百万円)



(試算条件)

- 1 起債残高 : 令和元年度は年度末残高を、令和2年度は6次補正予算(案)までの発行額を、令和3年度は当初予算(案)の発行額をそれぞれ反映した残高見込みです。令和4年度以降は中期財政見通し(令和3年1月時点)による発行額としており、本庁舎等整備に伴う発行などを見込んでいます。
- 2 基金残高 : 令和元年度は年度末残高を、令和2年度は6次補正予算(案)までの基金積立・繰入金を反映した残高見込みです。令和3年度は当初予算(案)における基金積立・繰入金を反映した残高見込み、令和4年度以降は中期財政見通し(令和3年1月時点)による基金積立・繰入金を反映した残高見込みとなっています。